

〈いわき地方振興局長賞〉

## 税金の大切さ

いわき市立四倉中学校

3年 松本 柝音

税金、と聞くと、私は正直「消費税が上がって大変」とか、「給料から税金が引かれるからお金が減る」とか、そのような話が多く私にはマイナスなイメージにしかなくなっていませんでした。

しかし、実際には、病気やケガをしてしまった時、医療費のかかなりの額を負担してくれたり、歳をとった時、年金や介護に使われて、必要になった時、少しでも負担が減るように使われていました。他にも、上下水道の整備や、道路の整備など、生活に欠かせないものを作り、維持するために使われていたり、学校の教科書など、勉強するための設備も税金により賄われています。また、税金と言っても、様々な種類があり、特にたばこや酒には特別な税がかかっていることに驚きました。このたくさんの税金があるおかげで、病気の時も、普通の生活も困らずすごせています。

ここまで調べて、もしも、税金がなかったらどうなるのか、と疑問に思いました。税金が無いと、救急車も呼べない、医療費も高くなる、ごみも出せない、道路はこわれて通れない、など、私たちの生活にとってデメリットしかありません。だからこそ、税金は私たちの生活に欠かせないものとなっています。

考えてみると、私も税金の恩恵をたくさん受けています。私は体質上ある注射をしなくてはならないのですが、その薬は月に数十万円もするようなものです。しかし、税金などの力によって、ほぼ無料で治療を受けることができます。この税金のおかげで、高い治療費を払わず済んでいます。この税金は、両親や、見しらぬ誰かが私の代わりに払ってくれています。払ってくれる人がいて初めて、治療が受けられていることを知り、本当にありがたいです。私も大人になったら、自分と同じような人達のために税金を払いたいです。

このように、税金のことを知り、またその税金のおかげで今の生活ができていると思うと本当にありがたく思います。調べてみて、私はただお金が減った、と考えるより、「きっと自分が払った税金が、どこかで誰かの役にきっと立っている」と思えるようになりました。私がこれから払うようになる税金によって、将来自分に何かあった時、大変なことが起こった時、もしくはどこかにいる誰かの役に、きっと立ってくれると思って払いたいです。